

過去最多更新！楽天証券、3月の月間新規口座開設数、初の25万超に - 1 - 3月口座開設者の68%が30代以下、資産形成層がさらに拡大 -

楽天証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：楠 雄治、以下「楽天証券」）は、2021年3月の月間新規口座開設数が、楽天証券で初めて25万を超え、過去最多となる25万529口座になったことをお知らせします。

楽天証券は、1999年に日本で初めてオンライン専門の証券会社としてサービスを開始して以来、常に“すべては個人投資家のために”をモットーに、社員一同、サービス向上に努めております。近年では、楽天グループの一員として「楽天エコシステム（経済圏）」の強みを最大限に活かした各種サービスなどの拡充を行っており、2020年の新規口座開設数は3年連続で業界最多*となりました。

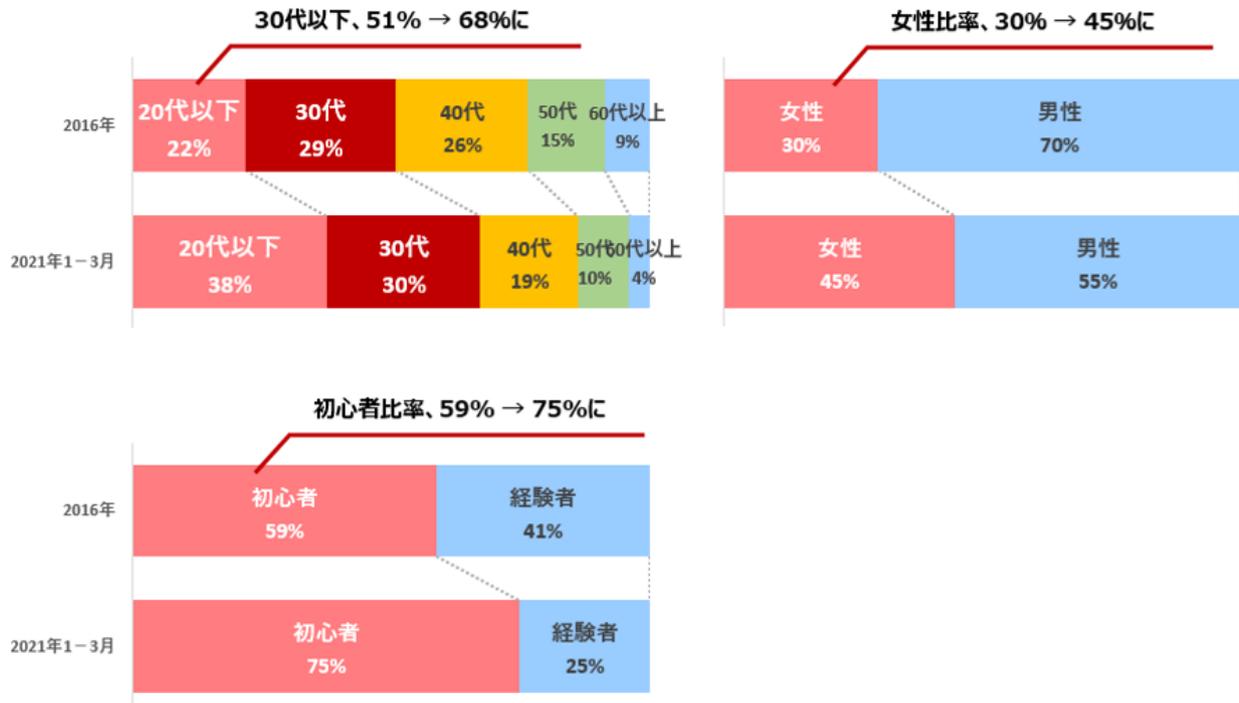
2021年は、老後資金への興味関心やコロナ禍での環境変化に加え、日経平均株価が約30年ぶりに3万円を超えるなど株式市場への注目も高まっており、多くの方が証券会社の口座を開設されています。オンライン証券である楽天証券は、各種お取引やサービスがオンラインのみで利用可能なだけでなく、オンラインセミナーやYouTubeでの情報発信の強化、口座開設のオンライン完結化など、新型コロナウイルス感染症拡大予防における外出自粛時や新しい生活様式においても、投資・資産形成の最初の一步として楽天証券をご活用いただきやすい環境提供に尽力しております。その結果、2021年も引き続き多くの方に楽天証券をお選びいただき、3月の月間新規口座開設数は25万529口座と過去最多となりました。さらに、2021年1月から3月に楽天証券で口座を開設された方の68%が30代以下、45%が女性の方、75%が投資初心者の方など、資産形成を目的としたお客様層の拡充がより一層進んでおります。

楽天証券は今後も、「資産作りの伴走者」として、これから資産形成を始める投資初心者の方からアクティブトレーダーの方まで、幅広いお客様のニーズにお応えするべく、さらなるサービス拡充に取り組み、お客様に「長く付き合いたい証券会社」として選んでいただけるように努めてまいります。

※：主要ネット証券（口座数上位5社：auカブコム証券、SBI証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））で比較（2021年4月5日現在、楽天証券調べ）

■2021年1-3月 新規口座開設者の属性

30代以下の方が68%、女性の方が45%、投資初心者の方が75%と、これまで証券業界での開拓が難しいとされていた一般消費者層の比率が増加しています。



以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会